

日付：2021年4月24日（土）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	退職金 運用の失敗を避ける について	日経 20 年金・ 積み立て	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者の金融リテラシー調査」によると、退職金の主な使い道で最も多いのが「生活資金」で34%。次いで「資産運用」が25%(65歳から79歳の男女1万1960人) しかしながら、大切な資産運用を失敗するケースも多数あり、一考の必要 総務省等の調査で、平均貯蓄額は2300万円ほど。65歳以降の家計は月5.5万円の赤字 そんな中、金融機関の「退職金専用定期預金」は注意。高利(0.8%等)も、預入期間は3ヵ月のみで、実際の金利は年率表示の4分の1。ふたを開けたら思ったほど増えていない等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 話題から退職金等積み立て状況の確認 ■ 年金2000万円問題等から、老後の資産計画等の確認 ■ 積み立て系商品の訴求
2	緊急事態宣言 3度目発令 について	日経 1 大見出し ・採用	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言を東京、大阪、京都、兵庫に発令。期間は4月25日から5月11日まで 飲食店(酒提供)や、生活必需品売り場を除く1千平方メートル超の大型商業施設が対象 大企業は1日20万円を上限に売上高の減少額の4割を、中小企業なら売上高に応じて4万~10万円を協力金として支払う。大型商業施設に1店舗当たり1日20万円の協力金を払う。テナントには2万円を出す スポーツの試合やコンサートなどの大規模イベントは原則無観客。公共施設は閉館・閉園 公共交通機関は平日の終電繰り上げ等。テレワークを強化し、出勤者7割減をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本日の大見出しとして情報をアップデート ■ 就業状況の確認(最新化) ■ 引き続きの採用声かけ
3	持病ある人も 接種開始に について	日経 4 コロナ・ 医療保障	<ul style="list-style-type: none"> コロナワクチンについて、65歳以上の高齢者への接種が終わる前でも、基礎疾患(持病)のある人などへの接種を認める方針を示す 人口が少なく接種が進む地域などが念頭にあるため 本来は、医療従事者が最優先で、65歳以上の高齢者が続き、その後基礎疾患がある人 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ関連の最新の話 ■ 医療保障の最新化や拡充 ■ 万が一(副作用)への備えも含め
4	日本勢、がんで先行 について	日経 11 がん・ 医療保障	<ul style="list-style-type: none"> 東レや東芝が、国立がん研究センター等との研究成果をもとに血液1滴から様々ながんを発見する検査キットを開発中。この分野では、日本勢が世界でも先行 血液1滴から発見できる可能性のある病気はがんや認知症など幅広く、コンピューター断層撮影装置(CT)や内視鏡では検出できないほど小さく早期の病変を見つけられる可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ■ がんの話題として活用 ■ がん保障の最新化や拡充

市況情報

日経平均/前日比	29,020.63/ ▲167.54	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.002%
TOPIX	1,914.98/ ▲7.52	国債(5年)/前日差	-0.110%/ 0.000
ダウ平均	34,043.49/ 227.59	国債(10年)	0.065%/ 0.000
上海総合指数	3,474.17/ 9.05	米国債(10年)	1.562%/ 0.019
ドル円	109.31-33 14銭高	中国国債(10年)	3.163%/ 0.009

今日は何の日

日本ダービー記念日 1932年のこの日、目黒競馬場で日本初のダービー(東京優駿競争)が開催。イギリスのダービーステイクスに倣って企画された。出走は19頭で、優勝したのは1番人気のワカカだった。ダービーは、第12代ダービー卿が始め、ロンドン郊外で開催されるサラブレッド3歳馬ナンバーワンを決めるレースの事。イギリス競馬界最高の行事
植物学の日
しぶしの日

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：**気配り上手で賢く立ち回れる器用な人**

長所

- ・知的好奇心が旺盛
- ・愛情が深い
- ・公平な心を持つ

短所

- ・思い付きだけで話す
- ・手先が不器用
- ・理屈っぽい

誕生日花：シャクヤク
花言葉：はじらい・慎ましさ

誕生日
カラー
緑色



詳細はこちら

本日の深掘りウォッチ：年金2,000万円問題って、何だっけ！？

以前、金融庁が2019年6月3日に公表した金融審議会の市場ワーキング・グループ報告書「高齢社会における資産形成・管理」の内容が世間的に大きく取り上げられ、話題になりました。

改めて、その問題を整理し、自身のお客さまのセカンドライフのプランニングを整えていきましょう！

前提

- 2017年の平均寿命は男性81.1歳、女性87.3歳（女性の60歳時点の平均余命は28.77年）
- 2017年の高年齢夫婦無職世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯）の毎月赤字額（収入－支出）の平均値は約5.5万円※詳細は下記表を参照

支出	
食費	64,444
住居	13,656
光熱・水道	19,267
家具・家事用品	9,405
被服及び履物	6,497
保健・医療	15,512
交通・通信	27,576
教育	15
教養・娯楽	25,077
その他消費支出	54,028
非消費支出	28,240
合計	263,717

収入	
収入（勤め先等）	4,232
事業収入	4,045
社会保障給付（年金等）	191,880
その他収入	9,041
合計	209,198

（単位：円）

約5.5万円

約5.5万円×12ヵ月×30年
⇒約1,980万円
が必要と試算される!!

加入している『公的年金』や『退職金』、『個人での積み立て』のポートフォリオをふまえ、収入を試算。左記の支出を参考にお客さま毎のライフスタイル（お子さまの独立の時期等）にアップデートし、目安となる必要な金額を算出の上、必要な積み立て額の過不足をイメージしていただく！

・・・左記収入は、「65歳から公的年金を受け取ること」を前提にしている点は注意が必要

参考：金融審議会 市場ワーキング・グループ報告書

「高齢社会における資産形成・管理」令和元年6月3日

https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20190603/01.pdf